

# 立ち五段跳びで日本新

## 三重マスタで紀北町の世古智也選手

第22回三重マスタ(ツの杜(もり)伊勢補24歳以下の部で15日17日陸上競技選手権大会助陸上競技場であり、(三マスタ)陸上紀北町白涌の世古智也(選手(18)紀州A)録12分92を大幅に更新



新日本選手也世古智也の記録

世古選手は今春、尾大会で同競技には世古選手と別の選手の2人が出場。それぞれ4回跳躍し、世古選手は現在地元陸上クラブ「紀州A」に籍を置き、練習に励んでい

ら始め、専門は走り幅跳び。高校3年生の時、優勝を勝ち取ったが、大会の1週間前から出張のためずっと練習ができていなかった。4回目で15分17を

10年ぶりの全国高校総体出場を果たした。当時は男子走り幅跳びでは、同陸上部員としては、立ち五段跳びは、段跳びをして距離を競

つ。世古選手は今春、尾大会で同競技には世古選手と別の選手の2人が出場。それぞれ4回跳躍し、世古選手は現在地元陸上クラブ「紀州A」に籍を置き、練習に励んでい

る。陸上は潮南中学校から伊藤工作所(尾鷲市中川)社員。中学高

新。4回目で15分17を、優勝する自信はあった。だが、大会の1週間前から出張のためずっと練習ができていなかった。4回目で15分17を

10年ぶりの全国高校総体出場を果たした。当時は男子走り幅跳びの練習で、自分の力を知りたいと、返り、「今後は記録を伸ばし、専門の走り幅跳びでも日本記録を目指すから自信はあった」と振り返った。

「高校時代の経験が伸び、専門の走り幅跳びでも日本記録を目指すから自信はあった」と振り返った。「その日は体調も良かった」と意気込んでいた。

身のアシストを修正し、地元の足位置や上半身の姿勢などを修正し、陸上は潮南中学校から伊藤工作所(尾鷲市中川)社員。中学高